

Z E N S H O K Y O

全 商 協

全国遊技機商業協同組合連合会広報誌

1 JANUARY
2010
VOL.1
創刊号



祝辞 警察庁生活安全局保安課 廣田耕一 課長
第7代 井上威夫 会長 基本方針を語る



北海道網走、雪原の日の出。
明るい2010年を思わせるような
雲を蹴散らして昇る朝日がまばゆい

- 1 祝辞 警察庁生活安全局保安課 廣田耕一課長
- 2 祝辞 関連12団体
- 8 第7代 井上威夫会長 基本方針を語る
- 11 パチンコ Happiness 野球人 金村義明
- 12 特集 10年目の節目を迎える販社主導の中古機流通
- 14 理事会・委員会 報告
- 16 理事長紹介
- 18 DATA 証紙発行枚数で見る中古機流通の役割
- 21 NEWS

全商協には次の5つの委員会があります。

組織委員会（遠藤委員長・渡邊副委員長）

全商協の定款及び規約、規程に関することや地区遊商で中古機流通で違反をした組合員の違反処分の承認をしたり、組織運営に関する重要なことを話し合います。

機械対策委員会（石山委員長・堺副委員長）

機歴管理システムなどの改善、中古遊技機流通における書類の発給及び問題点等中古機流通全般に関することを話し合います。今期は、認定申請機の点検確認時の写真撮影方法やそのマニュアルの作成、事務局担当者会議を開催し事務局職員にも周知徹底を図っています。

流通セキュリティ委員会（中村委員長・山本副委員長）

遊技機の流通過程における不正防止及びセキュリティの保持に関することや遊技機の不正確情報の収集など幅広くセキュリティに関することを話し合います。特に不正事案に対しては独自に投稿する制度を設け不正を撲滅するよう努力しています。今期は、遊技機取扱主任者の不正を見抜くスキルアップの向上を目指し、全国統一した同取扱主任者の研修会内容について検討しています。

廃棄台リサイクル対策委員会

（安藤利彦委員長・北岡副委員長・安藤享副委員長）

平成11年より、遊技機業界としては初めて当時の厚生省から「広域再生指定制度」を各地区遊商は受け、全国的に廃棄台の適正な処理に携わって参りました。今後は環境に対する取り組みを視野に入れながら積極的に活動を行います。

事業・広報委員会（日野委員長・斉藤副委員長・山田副委員長）

事業企画及び広報活動に関することをとする委員会です。今期は、念願のホームページの作成並びに会長杯チャリティーゴルフコンペの企画などを行うべく作業を進めています。

中古機流通協議会

当連合会では、中古機流通協議会の事務局としております。この協議会は、ホール団体、メーカー団体並びに販売商社団体の6団体（日遊協、全日遊連、日工組、日電協、全商協、回胴遊商）で構成され中古遊技機流通に関する様々なことを議論する重要な場です。今期は、認定申請機の点検確認時の写真撮影について話し合いました。この協議会は、次のような経緯で設立され、活動をして参りました。

- 平成10年1月 全日遊連機械対策委員会（玉川委員長）の呼びかけで「中古機勉強会」が市ヶ谷の遊技会館で開かれる。その後、「中古機健全流通協議会」になる。
- 平成12年6月 6月1日からの新流通システムの開始を機に「中古機流通協議会」に改められた。
- 平成13年7月 「中古遊技機流通健全化要綱」が施行され、新流通システム開始全商協で中古移動に関する機歴管理システムが本格稼働。これに伴い2次使用までの制限が撤廃され、原則自由流通。
- 平成18年4月 回胴遊商が5号機の中古移動開始。
- 平成19年10月 「認定」の暫定運用開始。
- 平成20年3月 「中古遊技機流通健全化要綱」の改正、「認定要領」を制定
- 平成20年7月 認定要領施行開始

広域認定制度について

現在は、環境省（当時厚生省）から「広域再生利用指定産業廃棄物処理者」として「広域再生指定制度」を各地区遊商は受けております。平成15年に産業廃棄物処理法の改正に伴い同制度が廃止される（現在は経過措置期間中）ため「広域認定制度」が設けられました。各地区遊商は、「広域認定制度」に移行するよう準備をしましたが、同制度は製造事業者のためのものなので、製造事業者と同制度を取得してほしいとの環境省からの意向により、日工組が平成21年12月に取得しました。現在、同制度の運用開始に向け準備をしています。

あけましておめでとうございます。

この度、貴連合会が「全商協・新春創刊号」を「中古機流通10周年記念号」として発刊されましたことに対しまして、心よりお慶び申し上げます。

貴連合会は、設立以来、遊技機の販売及び流通過程の健全化、適正化等を推進することを目的として活動してこられ、とりわけ、平成12年から実施されている中古遊技機流通制度においては、中古遊技機の健全流通と制度の厳正な運用の中核としての役割を担ってこられたと承知しております。また、平成19年からは、中古機移動に加え、認定申請における遊技機の点検確認と関係書類の発給事務も行われ、これら業務の適正な遂行を通じて、遊技機の不正改造の防止に尽力されており、そのご努力に改めて敬意を表する次第であります。

ばちんこは、代表的な大衆娯楽の一つとして国民に定着し、親しまれておりますが、一方で、のめり込みに起因すると思われる各種問題や遊技機の不正改造事犯が跡を絶たないなど、業界の健全性を阻害する要因が依然として残されていることも事実であります。

このような中、貴連合会は、遊技機の販売、設置及び流通業務の中で遊技機についての十分な点検確認を実施し、不正防止の機能を果たすべき役割を担っているものでありますが、最近の遊技機の不正改造事例を見ますと、その手口が巧妙化していることから、中古機移動に係る変更承認申請や認定申請時における確実な点検確認の実施が不可欠であります。

貴連合会におかれましては、こうした状況を重く受け止め、遊技機の点検確認を実質あるものとするため、遊技機取扱主任者研修の内容を実務に直結したものに直すとともに、遊技機取扱主任者を管理・監督する立場の販社代表者に対する研修も新たに実施されているほか、新年からは認定申請遊技機の写真撮影も行われると承知しております。また、従来の中古機流通において認められる問題点の改善策についても関係団体とともに検討されていると聞いております。貴連合会の取組みに敬意と感謝を表するとともに、引き続き、実効ある改善策を履行され、業界の健全化に向けて尽力されることを心からご期待申し上げます。

最後に、貴連合会の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



警察庁生活安全局

保安課長 廣田 耕一



全国遊技機商業協同組合連合会が中古機流通業務をスタートされて10周年を迎えられ、またこれを記念し、貴連合会広報誌『全商協』を創刊されますこと、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私も全日遊連の機関誌『遊報』も、おかげを持って昨年1月に、通刊200号を迎えることができました。団体の広報誌は、その団体の歴史を綴っていくものであり、取組や活動の周知をはかる上で、大変重要な役割を担っております。これから、貴連合会の顔として広報誌『全商協』を末長く育んでいただけますよう、心からご祈念申し上げます。

さて、貴連合会におかれまして、遊技業界あげての諸活動にご理解ご協力をいただき、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

昨今、業界の状況は厳しいと言わざるをいえませんが、こうした時期であるからこそ、業界全体で叡智をしぼり、協力しこの難局を乗り越えてゆきたいと考えております。

思えば、貴連合会と平成7年から5年間にわたる協議を経て、平成12年から中古機流通システムが稼働し、早いもので10年が経過いたしました。全日遊連は、高コスト体質の改善に取り組んでおり、ホール営業の形態も、遊技機のコストを抑えるべく、新台中心の営業方法から、中古遊技機を積極的に有効活用した営業方法へとシフトしてきております。また低貸玉営業の普及により、今後ますます中古遊技機の需要は増すことが予想され、貴連合会は大変重要な役割を担っており、今後のご活躍を心から期待しているところであります。

ばちんこは、日本の風土に育まれた真に楽しめる大衆娯楽であります。この私たちの業の発展、存続に向け、私も全日遊連もホール営業者を代表する団体として、貴連合会と手を取り合い、各種取組みに邁進してゆきたいと思っております。

最後になりますが、貴連合会並びに組合員の皆様のご発展とご健勝を心からご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

広報誌創刊、おめでとうございます。



全日本遊技事業協同組合連合会

理事長 原田 實

全国遊技機商業協同組合連合会（全商協）が、このたび広報誌『全商協・新春創刊号』を発刊されることに對しまして、心よりお祝い申し上げます。

全商協の歴史は、前身の全国遊技機商業組合連合会（全商連）時代を含めれば半世紀を刻んでいます。その全商連は平成元年3月に法人化され、全商協として発足しました。この年の5月には全日本遊技事業協同組合連合会（全日遊連）として7月には社団法人日本遊技関連事業協会（日遊協）が相次いで設立されました。これら同様の3団体は、それぞれ販売業者組合の連合体、ホール組合の連合体、そして業界横断的な公益法人として、他の業界関連団体と力を合わせながら今日までパチンコ・パチスロ産業を支えて来ましたが、全商協が発足して以降、とくに販売業者の皆様に関係する大きな節目が2つありました。一つ目は平成12年6月の中古遊技機流通健全化要綱の施行です。同要綱に基づき、販売業者の主導による新しい中古遊技機流通制度がスタートしました。この制度にあった全商協は、機管理システムを導入してセキュリティを強化するなど、中古遊技機の健全な流通と市場の活性化に大きな貢献をされてきました。あれから10年、広報誌『全商協・新春創刊号』を発刊して創刊号を「中古機流通10周年記念号」とし、以後、定期的に事業足跡を記録・広報されていくことは、業界にとって誠に意義深いことであると思います。二つ目の節目は、平成16年7月に施行された検定規則等の一部改正です。改正目的の一つは不正改造の防止であり、その中で遊技機販売業者等に所屬する遊技機取扱主任者が法令上明記され、その業務が明確に位置づけられました。そして、このことに關して日遊協では、販売業者のご協力で「遊技機取扱主任者講習・試験」を主催し、遊技機取扱主任者のレベル向上のお手伝いをしてきました。また、全商協をはじめとする業界関連団体と一緒に、販売業者の遊技機取扱業務の適正化を促進するため、遊技機販売業者登録制度を厳正に運用してきました。

これからも日遊協は業界唯一の公益法人として、唯一の横断的組織として、業界の同志と手を携えて、パチンコ・パチスロ産業の健全な発展につくしてまいります。

最後になりますが、全国遊技機商業協同組合連合会のみならずのご発展と、広報誌のご活躍を心より祈念申し上げます。



社団法人日本遊技関連事業協会

会長 深谷 友尋

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

平素より、私ども一般社団法人遊技産業健全化推進機構の推進する不正防止活動などに多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は、全国遊技機商業協同組合連合会の前身である全国遊技機商業組合連合会が設立されて50年目、そして現在、全国遊技機商業協同組合連合会が中心的な役割を果たされている、遊技機の中古機流通システムが稼働を開始して10年目を迎えられる、このことで心よりお祝いを申し上げます。

この節目の年に、全国遊技機商業協同組合連合会として広報誌を発行されることとあり、誠に喜ばしい限りだと思っております。本当におめでとうございます。

さて、皆様方は、中古を含めた遊技機の販売、流通システムの中枢を担われ、さらに廃棄遊技機の適切な対処など、業界内に張り巡らされた流通網を日々しつかりと、そして確実に動かしておられます。このことによってお客様であるファンの方は、全国各地のパチンコホールで安心してパチンコやパチスロを楽しむことができるのだと思います。まさに縁の下の力持的な活動を続けておられるわけで、是非、遊技機の流通システムなどにおいて、不正改造された遊技機が混入することのないよう今後とも工夫を凝らして対処頂きたいと思っております。特に中古遊技機の流通に関しては問題点を指摘されることもあるようですので、より一層の健全化に向けた取組みをお願いしたいと思います。

あわせて、以前から申し上げておりますが、遊技機販売会社の団体としてだけではなく、広く遊技機製造メーカーの団体、そしてパチンコホールの団体等、全ての業界団体と密接な連携をとり、業界が一丸となって、様々な活動を推進して頂きたいと思っております。申すまでもなく業界が一丸となることで、より大きな力を発揮できます。そのことにより遊技業界がますます発展していくのだと確信しております。最後になりましたが、全国遊技機商業協同組合連合会及び各地区の遊技機商業協同組合、そして所屬される販売会社各社の益々のご発展を祈念申し上げます。



一般社団法人遊技産業健全化推進機構

代表理事

河上和雄

貴連合会におかれましては、このたびの広報誌の創刊誠にありがとうございます。

日頃は、遊技機の販売を業とする傘下8地区遊商の多くの組合員をまとめられ、一致団結して事業を推進し着実に健全化に向けてご努力、ご尽力をされ、成果を上げてこられましたことに對しまして深く敬意を表する次第であります。

また、今回、中古機流通の制度が開始されて10年という節目を迎え、貴連合会の活動を広報誌を通じ広報されますことは、さらに信頼ある制度への一助となり、その意義は誠に大きいものと存じます。貴連合会は、遊技機販売業者の登録、遊技機取扱主任者制度の適切な運用を基に、業界団体で構成する中古機流通協議会における迅速で安全、安心な中古機の流通制度において中心的な役割を担い、その適切な運用により、遊技機の流通面において業界に貢献されております。

私ども遊技機製造業者として不正されにくい遊技機、不正を発見しやすい遊技機の開発を推進しておりますが、不正改造事犯はますます組織化、巧妙化しており、私拭ききれないのが現状です。その中で、流通を担う貴連合会の担う役割、責任は重要となってまいります。中古機流通における取扱主任者の点検確認のスキル向上など、制度運用のさらなる適正化を期待致します。

また、使用済み遊技機のリサイクルにつきましては、「循環型社会」への対応が求められ、いかに資源の有効利用を図ることができかが問われており、日工組では回収・リサイクルを推進するため回収システムが稼働し、貴連合会のご協力を頂き実績を上げていますが、使用後の遊技機の取扱いは環境問題を含め業界全体としての取組みが重要なことと認識しておりますので、今後とも更なる積極的な利用とご協力をお願い申し上げます。

遊技業界は、大きな変革期の中にあります。レジャー産業の一翼を担う者として、一人一人がそれに携わる誇りと自覚をもち、手軽で身近な大衆娯楽としての業界の将来を見据え、持続的な発展を願ってやみません。今後ともより緊密な連携とご指導をお願い申し上げます。ますますご発展されますことを祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。



日本遊技機工業組合

理事長

井置定男

全商協加盟の皆様方、明けておめでとうございます。

このたびは全商協におきまして、平成12年に中古機の販売方式が販社主導になりました。本年で10年という節目を迎えられましたことに對し、心よりお慶び申し上げます。

平成12年当時の遊技機産業は、遊技機不正改造やゴト事犯などが相次いで発生するなど、健全な業界の確立と存続を揺るがす状況にございました。そのような状況のなかで、業界各団体はこの不正撲滅という問題を最重要課題として様々な取り組みを行いました。特に、各組合団体の間では「遊技機のセキュリティ対策」について幾度と無く議論を重ねておりましたが、貴連合会におかれましては、検討委員会の中心的役割を自ら担い、徹底的に解決方法を検討されました。その結果、「かしめ基盤」の導入という画期的な対応を実現化した背景のなかで、中古機の流通において、貴連合会の提案の通り販社主導方式がスタートし、これにより貴連合会は飛躍的な発展を遂げられ今日の地位を築かれました。

その後10年経過し、今日ではICタグ封印シールが導入され、セキュリティの向上が実現されると同時に、機械の流通管理がスムーズに行われるようになりました。今後も業界健全化のためには、中古機を含む機械の流通においても様々な面で進化を遂げていかなければなりません。その中でも貴連合会は欠かせない存在であり、これからも業界発展に多大な影響力を発揮されるものと考えております。

近年、レジャーの多様化や規則改正の影響を受け、業界全体で遊技人口が著しく減少し、ホール経営も悪化するなど渾沌とした状況が続いております。このような環境下、遊技機販売においても厳しい状況が続いており、メーカー、販社双方にとって正念場となっております。とはいえ、遊技機も時代と共に確実に進化しており、メーカー各社においても今まで以上にユーザー視点に立った質の高いモノづくりを推し進めることで、必ずや業界の再活性化ができるものと確信しております。日電協と致しましても業界再浮揚のために行政機関や各組合団体と様々な協議を続け、新たな市場を作るべく専心誠意努力を続けて参る所存です。つきましては、引き続き貴連合会のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本筆ながら、貴連合会および傘下の組合員企業の皆様方の更なるご発展を心より祈念致してお祝いの詞とさせていただきます。



日本電動式遊技機工業協同組合

理事長 里見 治

全国遊技機商業協同組合連合会による中古遊技機流通等の業務が10周年を迎えられたこと誠におめでとうございます。また、これを期に広報誌を創刊されることにつきましても併せてお慶び申し上げます。

貴連合会は、前身である全国遊技機商業組合連合会（全商連）として昭和35年に発足され、この間、幾多の困難を克服されて昭和60年の風適法の施行への対応やばちんこ中古遊技機流通の健全化、使用済み遊技機の適正処理対策等に精力的に取り組まれ、遊技業界の健全な発展に尽力されてきました。

特に今回、特集記事に取り上げられた中古機流通業務に関しては、平成12年6月の中古遊技機流通健全化要綱に基づき販社主導の流通が開始されたのを機に、メーカーとホールを結ぶ懸け橋としていち早く不正流通をチェックする機壓管理システムを構築されました。また、平成16年7月から販売業者が「遊技機の保守管理を業とする者」として認知される検定規則等が一部改正されたことは販売業者の社会的地位とともに誇りをも高めたものであり、これらの実現も貴連合会の平素の活動や活躍の賜物であると感謝しております。

一方、我が回胴遊商は中古遊技機流通の業務につきましては平成18年4月から中古機流通協議会の委嘱を受け、中古機移動の関係書類の発給事務を開始し、4年目を迎えたところです。当組合はこれからも貴連合会の中古機流通に関する諸活動を手本に、回胴式遊技機の中古機流通の安全と円滑化に努めて参る所存です。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、広報誌の創刊を期に貴連合会の益々のご発展並びに組合員各位の一層のご活躍とご健勝を祈念申し上げてお祝いのご挨拶といたします。



回胴式遊技機商業協同組合

理事長 伊豆正則



貴連合会が中古遊技機流通等業務取扱い10周年を迎えられましたことを、衷心よりお慶び申し上げます。

振り返りますと、この10年間は遊技業界に大変起伏のあった激動の時代であり、貴連合会のご苦勞は並み大抵のことではなかったことと拝察いたします。

この時期に、各方面からの期待に応えて貴連合会が中古流通業務を開始されて以来、その理想と理念をそのままに著実に実績を上げられながら活動されておられることに関しましては、深く敬意と謝意を表す次第であります。

本中古流通業務は、業界の流通面における不正排除に大きく貢献し、業界の健全化に大きな役割を果たすと同時に、安心・安全な遊技機の提供がホールのパラエティーに富んだ営業活動を支え、業界の活性化に大きく貢献しているものと確信しております。

また、パチンコが「国民に愛される身近で手軽な大衆娯楽」として永続的に発展するためには、資源の有効活用のみならず、その活動が不可欠であることは言うまでもなく、中古遊技機流通制度は今や当業界にとって無くてはならない存在として、また将来においても必要不可欠の制度であることは間違いない事実と認識しております。

遊技産業の社会的責任が極めて大きくなるなか、更に貴連合会の中古遊技機流通業務の益々のご発展を祈念致しまして、お祝いの言葉と致します。



遊技場自動サービズ機工業会

理事長 木原 一雄

このたび、全国遊技機商業協同組合連合会が、中古遊技機流通制度の業務を始められてから10年の節目を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

中古遊技機市場におきましては、年間相当数が流通すると思われる中、移動履歴が全国一元管理できる機歴管理システムを開発されたことにより、不正機の流通が未然に防止でき、不正を監視するシステムとして、業界の健全化に多大なる功績を残されてこられたところに、この上ない敬意を表する次第であります。

システムの構築に携われた時代を顧みますと、歴代の理事長をはじめ組合員の皆様方の尽力により、築き上げてこられた年月であることと拝察致します。

今日まで諸先輩方々が育まれた輝かしい歴史と伝統を、「中古機流通10周年記念号」として発刊されることにつきましては、後世に語り継ぐことができる大変意味深い事業であるとともに、発刊に携われた皆様方には、深く敬意を表します。

10年の節目を迎え、今後さらに強化されたシステムとなれることを期待するとともに、この先さらに拡大すると思われる中古機市場の中で、健全な流通を支える柱として業界全体に大きく貢献して頂きたいと切に願います。

貴連合会におかれましては、中古機の流通のみならず、新台や部品設備等、ホールとメーカーの懸け橋的存在として、今日まで活躍されてこられたことと存じます。

業界では裏方的存在であります私ども補給組合員も、ホールのニーズを的確にお伝えできるメーカーとして、組合員一同努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

昨今の業界を取り巻く環境は大変厳しい状況にありますが、その時々々のニーズに的確に対応していき、組合員の皆様方による地道な努力と協力によって道を切り拓いて頂き、遊技ファンへの期待に応えることがレジャー産業の中心的位置付けに成長できる道筋であると確信しております。

貴連合会には、新たな輝かしい足跡と指針を教示賜りたくお願い申し上げます。今後益々のご発展と、組合員の皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。お祝いのご挨拶とさせていただきます。



遊技場自動補給装置工業組合

理事長 梁川 誠市



全国遊技機商業協同組合連合会が、中古機販売業務を開始してから10年を迎えられたとのこと心からお慶び申し上げます。

また、平素はメダル工業会に對しまして、多大なご支援ご協力を賜っており心から感謝を申し上げているところでございます。

さて、貴連合会は、平成12年6月1日 新しい「中古遊技機流通制度」のもと、セキュリティ上、極めて重要な中古遊技機の販売業務を開始されたわけでありますが、当初、機器の点検業務に従事する責任の重い「取扱主任者の養成」、「機歴管理」等、厳しい条件を克服され中古機流通業務を軌道に乗せるとともに、適正な運用に努める等、遊技機の流通業務の拡充に大きく貢献されたことに、あらためて敬意を表する次第であります。

現在、遊技機業界は、新台販売の低迷等、極めて厳しい状況の下におかれておりますが、このような中において、貴連合会は、これまでの実績と豊富な経験の上に立って中古機の販路を拡大する等大きな成果を挙げてこられたばかりではなく、業界の最重要課題である流通セキュリティ問題、さらには、排出遊技機のリサイクル問題等に積極的に取り組まれ、高い評価を得ているわけであります。貸し渡し等で資金調達が難しい昨今、中古機需要はさらに増大することが予想され、貴連合会の果たす役割も大きくなると同時に、不正事案も複雑、巧妙化していくことが予想されます。

私どもメダル工業会は、パチンコ機の自動補給機器メーカーの組織で、その業績は、遊技機販売の伸長・移動台数に左右されるわけでありますが、ホール経営の効率化と合わせ、不正のない遊技業界の発展に寄与していくためにも自動補給装置の普及に努めてまいりたいと思っております。

今後とも業界に精通し、製造・販売・納品という一連の流れを繋ぐ架け橋としての役割を存分に発揮され、ご活躍されんことを期待しております。

終わりに、全国遊技機商業協同組合連合会の益々のご発展と組合員の皆様方の企業のご繁栄を祈念致しまして、お祝いのご挨拶と致します。



遊技場メダル自動補給装置工業会

理事長 大泉政治

中古遊技機流通10周年の節目を迎え、全国遊技機商業協同組合連合会広報誌が創刊されることを心よりお祝い申し上げます。

全国の遊技機販売商社が組合員として結集する全商協におかれましては、この間、中古機の適正流通ならびに流通セキュリティの確保等の取り組みを活発に展開してまいりました。

この度の広報誌創刊を契機に、全商協の取り組み、とりわけ中古機流通に関わる情報開示が円滑に行われ、業界発展により寄与されますことを期待しております。

また、業界全体の課題であるパチンコ・パチスロの参加人口を拡大し、パチンコ・パチスロが真に国民の娯楽として支持と信頼を一層獲得し、業界の社会的地位を向上させるにおいても、貴広報誌が立派な一翼を担われることを切に願っております。

さて、地球温暖化防止のための環境問題取り組みを、業界を挙げて強力に推し進めて行くことは、今日遊技産業における重要課題であります。

ホール、メーカー、販社を問わず環境問題に真摯に取り組むとともに、業界トータルコスト削減の観点からも、ホールでの電気使用量の抑制、省エネタイプの遊技機の製造設置等が必要であります。さらに遊技機のリユース、廃棄台のリサイクル等が、明確な目標と施策をもって推進されるよう肯定的な役割を果たされることを期待してやみません。

末筆となりましたが、全商協の中古機流通及びセキュリティ確保など取り組みの更なる前進と創刊広報誌の末永い隆盛発展を衷心より祈念申し上げます。



一般社団法人日本遊技産業経営者同友会

代表理事 高濱正敏

新年明けましておめでとうございます。皆様には益々ご健勝で、輝かしい新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げますとともに、昨年中に当協議会に賜りました多大なご指導ご支援に對しまして、厚くお礼を申し上げる次第でございます。

また、この度は広報誌「全商協・新春創刊号」を「中古機流通10周年記念号」としてご発刊されたこと、誠にありがとうございます。

さて、社会を見渡しますと未曾有の不況により多くの上場企業が赤字、もしくは大幅減益となっております。離職者も飛躍的に増大しました。更に新型インフルエンザが世界中で猛威をふるっている状況にございます。その困難な状況で、日本、アメリカともに政権が交代しました。時代は政治、経済を中心に、加速度的に変化を遂げています。先が見えない社会状況で不安感が渦巻く中、パチンコ業界では戦後一貫して逞しくかつ弾力的に対応し、国民に楽しさを与える娯楽文化を築いてきました。

貴連合会におかれましては、販売及び中古機流通の要として活躍をされております。特に中古機流通については、この10年のご尽力のお陰で中古遊技機の流通の迅速化、簡便化に大いに寄与されました。その成果が現在の低貸玉営業といわれるビジネスモデルの急速な普及です。これは貴連合会をはじめとした中古機流通協議会の成果なくしてはありえなかったでしょう。このように貴連合会が業界繁栄の重要な一翼を担われておりますことに、心から敬意を表するものであります。

パチンコ産業が社会的要請に応える新たな発展を期するためには、この業界の健全性が国民の皆様により一層広く理解されなければなりません。貴連合会をはじめとした販売商社と共にメーカー、ホールが三位一体となり、健全営業を邁進することこそが大衆娯楽たるパチンコの認知向上に役立つのではないかと確信しております。

年頭に当たり、皆様からのより一層のご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げますとともに、益々のご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人余暇環境整備推進協議会

代表理事

宮脇石介

貴連合会が「中古遊技機流通業務」を開始されて、10年をお迎えになられること、誠にありがとうございます。

貴連合会は、新台・中古機流通の中で、メーカーとホールの間に立つ大変重要なパイプ役を担われてこられました。

歴代の会長をはじめ役員並びに会員の方々の多大なるご尽力の結果、今日の遊技産業界が掲げる「大衆娯楽」並びに「業界の健全化」が実現されておりますこと、偏に貴連合会の熱い思いとご努力の賜物のお陰と存じ、心より敬意を表します。

今後も遊技産業界に於いて、更なるリーダーシップを発揮され、ますますのご活躍とご発展を心よりご祈念申し上げます。



一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会

代表理事

谷口晶貴



情報の共有化を通じて 組合員の参加意識の向上を図る

井上 威夫 第7代会長

全商協の前身である全国遊技機商業組合連合会（全商連）が設立されたのは昭和35年です。そして平成元年5月には通商産業省（当時）から設立認可を受けて現在の全国遊技機商業協同組合連合会に改組されました。

全商協の初代理事長は高梨政己氏（東遊商）です。同氏は全商連の法人化や中古機流通の礎を築きました。その功績とともに全商協の舵取りは第2代理事長の西川保雄氏（中国遊商）、第3代理事長の弓長竹男氏（中部遊商）に引き継がれ、第4代理事長の水野新市氏（東遊商）の在任中には我々の念願であった販売業者主導の「新中古機流通制度」に道が開かれました。この新制度の構築に東奔西走し、制度確立に尽力されたのが第5代理事長の寺内一史氏（中部遊商）です。第6代目の井坂武彦前会長（東遊商）は、より信頼される中古機流通を目指して「QRコード」を活用し

昨年6月17日に開催された第21回通常総会において関西遊商の井上威夫理事長が第7代会長に就任した。就任から半年が経ち、すでに組合の広報活動と情報の共有化を目的とする広報誌の発行や、各単組に中古機流通等に関するガイドブックの作成を指示するなど具体的な「アクション」を起こしている。そこで、広報誌の発行に際して井上会長に今後の組合運営に関する基本方針を語ってもらった。

た新システム導入に汗を流されました。

平成元年に全商連から全商協へと改組してから昨年20周年を迎えました。今日の全商協があるのはひとえに歴代の会長(理事長)を始めとする先達の努力があつてこそです。その後任として昨年6月の第21回通常総会で第7代会長に選出されましたが、就任1年目は「アクションを起こす」をモットーに、鋭意努力したいと考えています。



「アクション」を起こしている。

就任挨拶では中古機流通での「違反ゼロ」を掲げました。こうした目標に向かって具体的な行動を起こし、そして着実な前進が見られるように努めたいと思います。

また全商協として他団体との折衝など果たすべき役割をしっかりと実行していくことも大変重要になると認識しています。単組組合員の皆さまには組合活動を充分に理解してもらい、常に組合の一員であるという自覚を片時も忘れることのないようにお願いします。

理念の共有が不可欠

さて、会長就任にあたり、最初に考えたことは単組組合員の意識向上でした。組合への参加意識をもってもらうためにどうすればいいのか、このことです。

広報誌の発行は以前からその必要性を強く感じていました。意識向上を図るには少なくとも組合の

掲げる理念の共有が不可欠です。今回発刊した広報誌はその目的を達成するための第一歩にわたしは位置づけています。

広報誌には2つの目的があります。1つは全商協と傘下8単組の活動を行政当局及び業界団体等に広報すること、もう1つは全商協と各単組の取り組みに関する情報を単組組合員にも共有してもらうことです。理事会の決定事項や各委員会の活動報告等を単組組合員だけではなく行政当局をはじめ業界関係者に積極的に発信することを目指します。

例えば、認定申請に係る作業では点検確認時にデジタルカメラによる撮影を実施することがすでに決定されました。もっとも現在は、撮影導入に向けた研修会の実施など、本格運用に向けたテスト期間(1か月間)にあります。こうした取り組みについても適宜アナ

ウンスしていきたいと思っています。

情報の共有化では、組合の活動動向や業界情勢を的確に伝えるとともに、遊技機の流通に携わる組合員に対して風適法や中古機流通制度等への認識を向上させるための啓蒙活動もその範疇に含まれると認識しています。組合員一人ひとりに組合の活動趣旨を伝え、当事者意識の喚起につなげたいと思っています。

月例報告書で情報の共有化を

昨年6月から各単組に月例報告書の提出をお願いしています。そして月1回の理事会には各単組より報告を頂いていますが、こうした取り組みも情報の共有化を目指したものです。現在理事会では各単組の活動内容を報告書にまとめ、かたちで提出してもらっていますが、これまではなかなか試みとあって当初は少なからず戸惑いもあったようです。しかし報告内容は回を重ねるごとに充実しています。継続は力なりと申しますが、やがて各単組の運営や組合員の営業にも役立てられる貴重なデータベースとなることも期待されますので、引き続きご協力をお願いします。

たいと思います。なお各単組の活動内容を報告書についても広報誌等で伝達していきたいと考えています。

一方、組織強化を図るには各委員会の活発な活動も必要です。それには理事会だけでなく各委員会の横断的な情報の共有化も欠かせません。全商協には「組織委員会」「機械対策委員会」「流通セキュリティ委員会」「廃棄台リサイクル対策委員会」「事業・広報委員会」と5つの委員会があります。各委員会にはこれまで通り活発な議論を重ねてもらい、その内容を5つの委員会でも共有し「横のつながり」を強化することで組織強化を図りたいと思います。

研修会で遵法意識向上を

さて、全商協は業界6団体からなる中古機流通協議会より確認証紙の発給と打刻申請に係る業務を委嘱されています。活動重点項目にもあるように全商協のメイン事業は中古機流通であり、行政当局や業界関係者に不信感を持たれないよう適正な制度運用が求められています。平成12年6月1日に販売業者主導の中古機流通が開始さ

れてからまもなく10年目を迎えますが、残念ながら点検確認の未実施等の違反行為によって行政当局及び業界内から中古機流通に対する懸念が指摘されています。すでに述べたように会長就任にあたって「違反ゼロ」を掲げました。

いま直面する中古機流通への懸念を払拭するためにも保証書の作成が認められた経緯について再認識する必要がある。



委員会の実施マニュアルの規定がありますが、教材について各単組が作成したガイドブックを活用してください。

研修会には単組組合員の代表者に対して本人出席を義務付けるも

と。とくに取扱主任者については、点検確認で重要となる目視点検の更なる精度向上に努めて頂く必要がありますので、代表者におかれましては特段のご指導をお願いいたします。先のガイドブックは単組組合員以外に行政当局など関係各所にも配付されているものです。ガイドブックには中古機流通制度と認定申請制度に係る作業の手順や注意事項、中古遊技機流通健全化要綱等の重要な規程が掲載されており、組合員にとって必要不可欠な情報が網羅されています。研修会の教材としてだけでなく、社内研修にも活用できますし、取扱主任者には日頃の実務確認にも是非利用してほしいと思います。

全商協は傘下8単組の連合体です。各単組は独自の判断で組合を運営しています。その自主性は尊重されるべきものですが、適正運用が厳しく要求される中古機流通事業等では、ある程度統一的な基本指針が必要になると認識しています。こうした基本指針の策定についても前向きに取り組んでいきたいと思っています。

就任1年目は「アクションを起こす」をモットーに

ぱちんこ Happiness 野球人



金村 義明

中の休日などが一番多く、シーズン中はもっぱら遠征先になりますね。ナイターの場合、ピッチャーは練習開始も夕方からで昼間は案外暇ですから。特に社会人野球出身者には腕に自信のある者が多い感じがします。

それと何といっても、僕にとつて関心が高い最大の理由は、今をときめくマルハンの社長が高校時代からの親友だからなのです。

創業して50年を越え、年間売り上げ2兆円、経常利益390億円という日本最大規模のホールゲームを率いる韓裕(はん・ゆう)社長は「甲子園・同級生」なのです。しかも僕が報徳学園のエース兼4番打者として全国制覇を果たした昭和56年(1981年)夏の甲子園で、韓は決勝を戦った相手である京都商業(現京都学園)の主軸打者(5番・左翼手)やった。それ以来、ライバルという枠を超えた親友としての付き合いを今に至るまで続けています。

パチンコやパチスロ好きのプロ野球選手やOBは周囲にたくさんいますけど、正直言うと僕自身はそうでもない。それでも興味は大いにあります。身近で手軽な大衆娯楽として欠かせない存在だからです。しかも、野球とパチンコの共通項は「庶民的で手軽なエンタテインメント」というあたりでしょうが、縁は深いと思います。プロ野球選手がホールに出かけてハンドルを握る機会はキャンプ

僕は高校卒業後、ドラフト1位指名を受けて近鉄バファローズへ入団。中日、西武へと移籍しながら99年に現役引退するまでプロ野球の世界に身を置きました。今は

評論活動を中心にマスコミ側で仕事を頂いているけど、名刺には「野球人」という言葉を刷り込んでいます。自分の基本スタンスだけは絶対に見失いたくありませんからね。一方、韓は法大までは野球を続けたけど、その後は親父さん(韓昌祐会長)の後を追ってマルハンに入社してビジネスマンの道を歩み、ついに去年夏には社長の座にまで登り詰めた。静岡営業本部長時代など随分苦労していましたね。それでも草野球日本一を決めるマルハンカップをはじめ、マスターズリーグや社会人野球のNOMOベイスボールクラブ、さらには四国・九州アイランドリーグの香川オリブガイナースなど様々なレベルでの野球への支援を惜しまないのは、彼もやはり根は「野球人」だからでしょうね。それでも監督によつては「パチンコ店に長時間いると腰や肩にも負担がかかるから」と体調面を考慮して、禁止されるケースもあります。昔のイメージが残っているからなのでしょう。韓と話した中で印象深かったのは「まだまだパチンコ業界の社会的な位置は低いよ」と悔しそうにつぶやいたことです。だから社長

は業界をリードする立場としてコンプライアンスを非常に重視しているそうです。社員教育も厳しいようです。現実にはグループに代表されるような全国展開している郊外型の大手チェーン店が中心となつて、業界全体のおしゃれでクリンなイメージが浸透して来ていることを、僕も一顧客として肌で感じていきますからね。今後、野球を始めスポーツ支援や地域活動など社会貢献にますます尽力いただくことも、イメージアップに直結するのは間違いないでしょう。

野球もパチンコも身近で手軽な楽しみなので、これからももっともっと元気になつてもらいたいと願っています。

かねむら・よしあき

1963年8月27日、兵庫県宝塚市生まれ、46歳。報徳学園のエース兼4番として81年夏の甲子園で優勝。ドラフト1位で近鉄入団。「いてまえ打線」の看板として活躍後、95年にFAで中日移籍。97年にはトレッドで西武へ移り99年に引退。テレビ、新聞の野球評論、解説を中心に抜群のトーク力でタレントしても活躍中。

販社主導の中古機流通 原点回帰が求められる

平成12年6月1日の「中古遊技機流通健全化要綱」施行によって販売業者主導の中古機流通が開始された。平成16年7月1日からは規則改正によって法的根拠を持つ制度に格上げされた。そして、今年6月には販売業者主導の中古機流通は10年を迎える。前身の全商連時代から先達の“努力”と“信頼”により今日の中古機流通制度は築かれた。このことを忘れてはならない。組合員には節目の10年を迎えるにあたって中古機流通の在り方を再度認識してもらい、制度の原点に戻った適切な運用が強く求められている。

平成12年6月から始まった販売業者主導の中古機流通
平成12年6月1日に「中古遊技機流通健全化要綱」が施行された。これにより中古パチンコ機について

では、登録販売業者に所属する取扱主任者が作成する「遊技機点検確認書」をメーカーが発行する保証書と同等とし、目視点検（点検確認作業）で型式の同一性を担保する「新中古機流通制度」が開始された。

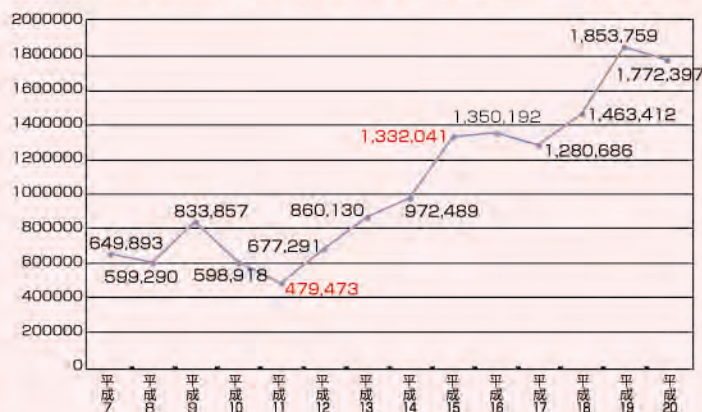
この販売業者主導といえる中古機流通が開始される以前は、昭和60年10月8日の日工組、全商連、日電協、全遊協の業界4団体（当時）による合意のもと、メーカーが発行する保証書を担保に中古機は流通していた。しかし、取扱量が増加する中で保証書の発行に支障を来す事態が発生し、平成2年には全商協（平成元年に全商連から改組）が日工組に対して是正を働きかけた経緯がある。また、平成10年には円滑な中古機流通を望む全日遊連から問題点が指摘され、

全日遊連・日遊協・日工組・日電協・全商協・回胴遊商の6団体によって「中古機健全流通協議会」（現・中古機流通協議会）の設置に動いた。

当初はホールの管理者による点検確認を含む全日遊連案と登録販売業者・取扱主任者制度を活用する全商協案の2案が示されたが、日遊協から「機械を“造る・売る・使う”の住み分けを考えなければならぬ」と提言されたことで協議会は、全商協案を軸に進められることになった。そして、平成12年3月に行政当局の了承のもと「中古遊技機流通健全化要綱」が採択され、同年6月より施行されることとなった。

平成12年6月1日の新中古機流通制度の開始以降、中古パチンコ機流通の取扱量は飛躍的に増加した。同制度が施行される前年度に全商協が発給した確認証紙（昭和63年4月1日から発行を実施）の総枚数は47万9473枚であったのに対し、施行初年度は約20万枚増の67万7291枚、3年後の平成15年度では100万枚の台を突破する133万2041枚へと急伸した。

全商協確認証紙発給状況（平成7年度～平成20年度）



平成12年6月に開始された新中古機流通制度以降は、確認証紙の発給枚数が急伸している

自主ルールの法的認知で販売業者の責任が明確化

平成16年7月1日に施行された新規則は、射幸性の抑制と不正機排除が主な趣旨であったが、中古機流通でも大きな変革があった。平成12年以降は中古機流通制度のもと販売業者主導で中古パチンコ機は流通できるようになったが、あくまで行政当局の了承のもと、業界の自主ルールとの位置づけであった。しかし、先の規則改正によって中古機に係る許可申請及び

10年の節目を迎える 足元を見つめ直し



平成21年10月26日に中部遊商が開催したオーナー研修会で講演する石山敬達筆頭副会長

変更承認申請、認定申請に必要な書類の作成を遊技機取扱主任者に認める法整備がなされた。

これにより、風適法上きわめて曖昧な存在でしかなかった販売業者が史上初めて法的根拠を持つに至る（新規則による中古機流通の規定では「公安委員会が遊技機の点検及び取扱いに関し十分な知識及び技能を有し、遊技機の点検及

の作成を認め、「遊技機取扱主任者」が規則上に初めて明記された）。

この遊技機取扱主任者の認定基準は、平成16年6月22日に警察庁生活安全局生活環境課（当時）による通達で示され、日遊協が実施する「遊技機取扱主任者講習」を受け、かつ「遊技機取扱主任者試験」に合格した者である。

び取扱いを適正に行うことができると思われるもの」に保証書

適正な中古機流通の維持のため 原点回帰が求められる

新規則施行を目前に控えた平成16年6月2日、同日開催された全商協第16回通常総会の席上、行政講話を行った警察庁の若田英生活環境課課長補佐（当時）は、販売業者主導の中古機流通の法文化に触れ、規則明記の理由を「やはり販社による不正関与がなかった点が大きい」と述べた。これは、平成12年6月以降の新中古機流通制度の適正運用によって築かれた行政当局の信頼が規則改正を機に中古機流通に関する法的認知につながったことを意味した。

販売業者主導の中古機流通は今年で10年目を迎えるが、オーナー研修会等で講演を行う石山敬達筆頭副会長は「利益の追求は会社として当然ではありますが、中古機流通に携わる組合員には、取扱う中古遊技機が風適法に規定される商品であることを自覚して、営業成績だけではない重い責任があることをもう一度思い出してほしい」と組合員に訴えている。

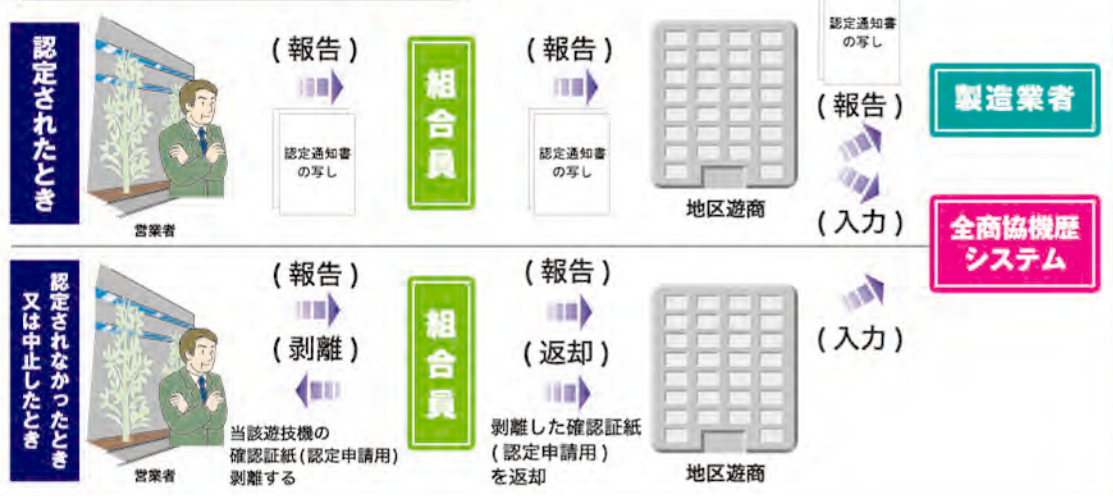
今後全商協は井上威夫会長のもと、いま一度中古機流通の在り方を見つめ直し、制度の原点へ立ち

帰るため代表者、取扱主任者等を対象とする研修会を通じて、風適法に携わる者としての意識向上を図り、すでに全商協傘下の8単組は、中古機流通が適正に運用されるよう作業手順等を確認できるガイドブックをすでに作成して組合員及び関係各所へ配付。組合員だけではなくホール関係者などへも制度の理解を促すなど、適正運用に向け積極的な活動を展開している。一方、中古機流通協議会の委員長である全日遊連の金本正浩副理事長も、「平成12年から始められた、この遊技機取扱主任者が保証書を作成できる中古機流通制度によって、ホールも安心、安全な遊技機の中古機移動がスピーディーに行われることになり、大変な恩恵を受けております。中古機流通協議会委員長の私としても行政の指導を仰ぎながら引き続き、さらなる業界の発展に向けより良い制度となるよう努めたいと思います」と販売業者主導の中古機流通に期待しており、行政当局及び業界関係者の信頼に応えるためにも、井上会長のもと組合員が一丸となって中古機流通の適正運用を維持しなければならない。

2 打刻申請受付から打刻書類の発給まで



3 認定申請の結果報告



4 認定遊技機の移動設置



●認定申請機の写真撮影について

全商協は、第61回中古機流通協議会（昨年9月14日）で「認定申請機の写真撮影」実施の意向を明らかにして、業務作業の具体的な検討に入った。機械対策委員会が中心となり、延べ890分及び集中審議を経て、「1」主基板製造番号「2」主基板ROM「3」主基板全体の1台につき3枚が基本となる「ばちんこ遊技機点検確認時の写真撮影要領」を作成した。

●月例報告書について

理事会

平成21年6月の理事会で、「各地区遊商の活動内容等の情報を全商協理事会でも共有し、今後の組合運営に役立てたい」との目的で井上会長より提案があり、各地区遊商から毎月の「月例報告書」として、翌月の理事会に提出されることになった。

その内容は「①中古機・認定機の取扱状況②新台の販売状況③行政との連絡事項④地区遊技組合との連絡事項⑤地区遊商の活動状況⑥その他」の6項目。

毎回充実してきており、より良い組合運営に向けて貴重なデータが蓄積されるものと期待されている。

●ガイドブックについて

流通セキュリティ委員会

一部の地区遊商が先行して作成していた「中古遊技機移動申請と認定申請・認定遊技機移動ガイドブック」が、現在はずべての地区

1 点検確認依頼から打刻申請書類の提出まで



「撮影画像資料を添付した打刻申請の流れ」等、撮影した画像をパソコンでチェックした後、USBメモリーに保存する「認定申請・画像提出マニュアル」も加えて体制を整えた。データ保存システム構築に要する時間を考慮して、写真撮影等の認定申請に関わる研修会を各単組で済ませた上で、今年1月から1か月間のテスト運用期間を経て、本格運用は2月1日から開始の予定とする。

遊商での作成が終了し、全単組の組合員に配付されている。ガイドブックは、流通セキュリティ委員会が概要をまとめたマニュアルに沿って各地区遊商で作成された。内容は、中古遊技機移動申請と認定申請・認定遊技機移動の作業手順を図解入りで分かりやすく説明しているほか、重要な規程である「中古遊技機流通健全化要綱」、保証書等の各種書式など中古遊技機流通と認定申請業務に必要な情報が網羅されている。

地区遊商で開催している中古機流通等に関する研修会でも、このガイドブックを使用。今後は各単組の組合員の代表者も社内研修等で活用され、遊技機取扱主任者など実務担当者は業務の確認などに役立てて、適正な中古機流通及び認定申請業務の運用を図る。

また、ガイドブックは行政当局及び全国のホール等にも配付。これは、中古遊技機流通等における販売業者の業務への理解をより深めてもらい、その一助ともなり、各方面から高い評価を頂いている。

中部遊商

安藤利彦理事長トリビア

血液型	A型
座右の銘	努力は天才に勝る
好きな本	歴史物
好きな色	白
好きな音楽	ポップス
好きなスポーツ選手	長嶋茂雄
好きなタレント	北野 武
好きな歴史上の人物	武田信玄
カラオケ十八番	特になし
趣味	ゴルフ
今年のモットー	改革

「笑顔と創造」をキャッチフレーズにした中部遊商にふさわしい九代目理事長。どんな時でも周囲を和ませてしまう素晴らしい笑顔がトレードマークだ。パチンコの聖地、名古屋を中心に中部7県をカバー、「遊技機流通を担うプロ集団」としての強い気持ちを持たせるべく指導教育を率先、若者たちの声にも熱心に耳を傾け、時代の流れを読み取る。頼り甲斐のある上司でもある。

会長

関西遊商

井上威夫理事長トリビア

血液型	O型
座右の銘	日に新たなり
好きな本	松本清張
好きな色	ブルー
好きな音楽	軽音楽
好きなスポーツ選手	中島常幸プロ
好きなタレント	特になし
好きな歴史上の人物	伊達正宗
カラオケ十八番	特になし
趣味	ゴルフ、読書
今年のモットー	行動

組織委員会の委員長として、全商協のご意見番役を担っている。北海道内のパチンコ業界にあっても、豊富な知識と経験を生かし、他団体とのつながりも強く、存在感あるリーダーシップを発揮している。組合運営では時に厳しく、時に優しく、カリスマ性に富んだ指導が特徴だ。スタッフには常に笑顔を保ち、温かく見守ってくれるが、間違えたことには厳格に対処する。

北海道遊商

遠藤重廣理事長トリビア

血液型	A B型
座右の銘	金は天下の回りもの
好きな本	徳川家康の生涯
好きな色	緑
好きな音楽	クラシック
好きなスポーツ選手	石川 遼
好きなタレント	特になし
好きな歴史上の人物	徳川家康
カラオケ十八番	酒よ
趣味	ゴルフ
今年のモットー	健康第一

中国遊商

松原陽輔理事長トリビア

血液型	A型
座右の銘	人間やめたら終わり
好きな本	ゴルゴ13
好きな色	紫
好きな音楽	洋楽
好きなスポーツ選手	アーニー・エルス
好きなタレント	ビートたけし
好きな歴史上の人物	織田信長
カラオケ十八番	最後の言い訳
趣味	ゴルフ
今年のモットー	安全安心確実の確保

新任の理事長とは思えない、自信に満ちた言動が目玉を集めている。普段は無駄口を発することは皆無、それだけに初対面ではとっつき難い感じだが、根は優しい兄貴的存在だ。先輩諸兄の熱い視線を浴びている中で、冷静沈着、物事を正面から捉えて、真面目に立ち向かう姿勢は、頼もしい限りだ。今年の活躍が大いに期待される。

2期目の理事長は声が大きく、いつも朗らか、元気一杯。演歌を好み自らもマイクを握れば、懐メロのオンパレード。自らの携帯からも「着メロ演歌」が常に流れてくる。見かけは無骨ながら、気持が優しい人情家、頼もしい限りの東北男子。ゴルフ組がほとんどの8単組の理事長の中では、唯一の文科系。全国各地を巡り、散策を楽しむグルメ派でもある。

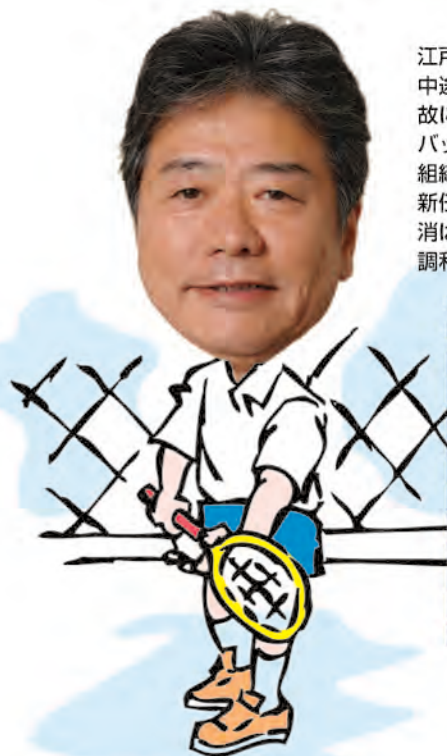
東北遊商

渡邊孝美理事長トリビア

血液型	O型
座右の銘	他に勝より己に勝て
好きな本	こころ・夏目漱石
好きな色	緑
好きな音楽	演歌
好きなスポーツ選手	ダルビッシュ
好きなタレント	みのり
好きな歴史上の人物	坂本竜馬
カラオケ十八番	娘に・吉幾三
趣味	庭造り、植木
今年のモットー	体調管理、元気一番

理事長紹介

七代目・井上威夫会長が、理事長七人を率いてまいります
新生・全商協の“トップ八人衆”をご紹介します



江戸前気質の東男は、時に周囲を戸惑わせる。中途半端が許せない、真向勝負の直球型投手。故に、時に痛烈なピンボール紛いの際どい球がバッターを掠めることも。8単組の中では最大組織（組合員数297社）を有する大所帯だけに、新任リーダーとしての悩みも多い。ストレス解消はもっぱらゴルフとテニス。今年は周囲との調和を図り、協調精神で前進を図る。

東日本遊商

中村昌勇理事長トリビア

血液型	B型
座右の銘	和を以て尊と為す
好きな本	人物もの
好きな色	ピンク
好きな音楽	ジャズ
好きなスポーツ選手	大杉勝男
好きなタレント	美空ひばり
好きな歴史上の人物	田中角栄
カラオケ十八番	特になし
趣味	ゴルフ、テニス
今年のモットー	コンプライアンス

実直な7代目会長。推挙された総会での就任挨拶で「今年は違反ゼロにしよう」を掲げて新生・全商協をスタートさせた。栄えある関西遊商のトップを5期務め、役員、組合員をはじめ誰からも信頼されている「仕事やらせ上手」の行動派上司。「点検確認の要」取扱主任者だけでなく、代表者の研修も実施励行、HPの立ち上げ、広報誌発行、月例報告実施、ガイドブック作成等矢張り早の司令に、各委員会を眠りから覚めさせて活性化を図る。



理想の上司にしたい様な温厚な人柄を感じさせる表情、話術は、周囲に安心感を与えてくれる。全商協の中では貴重なジェントルマンの理事長だ。風貌から窺える育ちの良さは、その立ち振舞いにも余裕と自信が自然と表れる不思議な雰囲気をもっている。絵画投資に海外に出向く異色のリーダーです。

四国遊商

日野泰昌理事長トリビア

血液型	A型
座右の銘	成せば成る
好きな本	小説全般
好きな色	赤
好きな音楽	ジャズ全般
好きなスポーツ選手	イチロー
好きなタレント	特になし
好きな歴史上の人物	徳川家康
カラオケ十八番	特になし
趣味	ゴルフ
今年のモットー	有言実行



大役をきちんと果たし続けながら、組織のトップを長く維持することのキーワードは「信頼」。10年に渡る役員歴、しかも大所帯の単組を纏め上げるリーダーに君臨することは、仕事への真面目さの証でもある。戦略を練り、理詰めの仕事ぶりは敬服の的。周囲への気配りもさることながら、超がつく慎重さで粘り強い攻めの姿勢を崩さない。責任感が強く勉強熱心、遊技業界、組合の話になると熱く語る。

九州遊商

石山敬達理事長トリビア

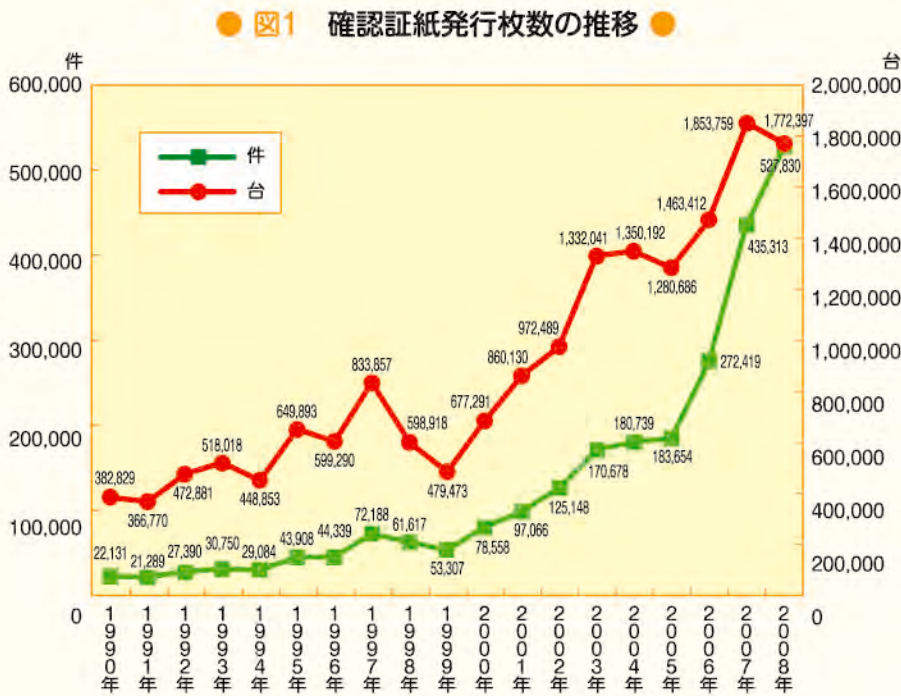
血液型	B型
座右の銘	素直な心
好きな本	司馬遼太郎
好きな色	白
好きな音楽	特になし
好きなスポーツ選手	特になし
好きなタレント	特になし
好きな歴史上の人物	織田信長
カラオケ十八番	特になし
趣味	読書
今年のモットー	守成



証紙発行枚数で見る中古機流通の役割

20年で飛躍的に伸びた
証紙発行枚数

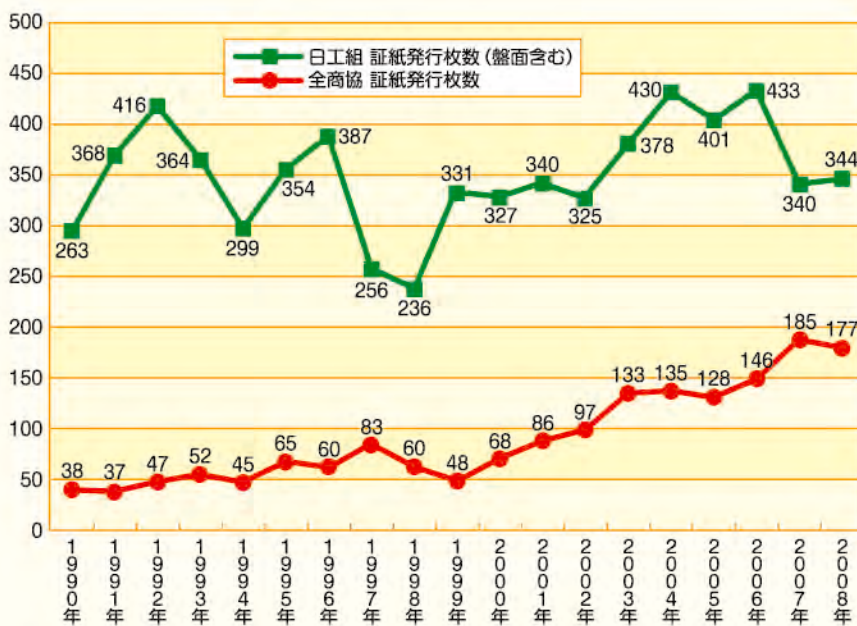
全国遊技機商業協同組合連合会



(略称：全商協) が協同組合として認可を受けたのは1989年。

その翌年である1990年度に中古機パチンコ向けに発行された証

● 図2 日工組証紙発行枚数 ●



紙枚数 (台数) は38万枚でした。

(図1 確認証紙発行枚数の推移)

その後、中古機向けの証紙発行枚数は年により増減はあるものの

増加を続け、2008年には177万枚と1990年と比較すると4・7倍にも及んでいます。それだけに全商協傘下の組合企業の方々のパチンコ業界における役割は重要になってきています。

日工組の証紙発行枚数の5割に及ぶ

その重要性の変化について、日本遊技機工業組合(略称：日工組)が新台製造時に発行する証紙枚数と比較してみましよう。1990年当時の日工組の証紙発行枚数は263万枚。全商協の発行枚数はその13%程度でした。ところが、2008年の日工組の発行枚数は344万枚でしたので、全商協の発行枚数はその51%の規模にまでなっています。

また、日工組の証紙発行枚数は1990年と2008年を比較すると17%増です。その増加の状況

遊技参加人口は減少

にも大きな違いが見られます。

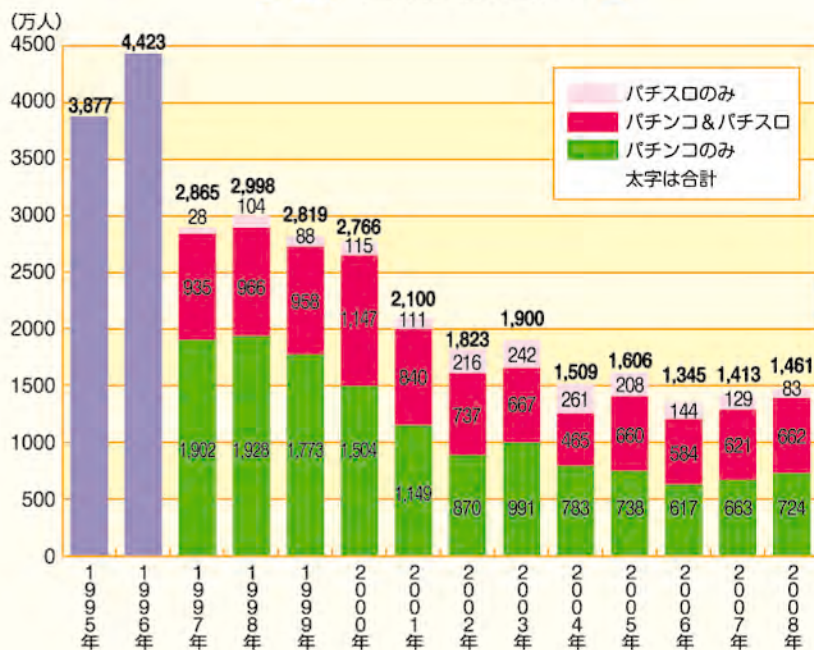
一方、パチンコファンはどのように変化してきたのでしょうか。

エンタテインメントビジネス総合研究所の「パチンコ参加実態調査」で推計されている遊技参加人口を見てみましょう。

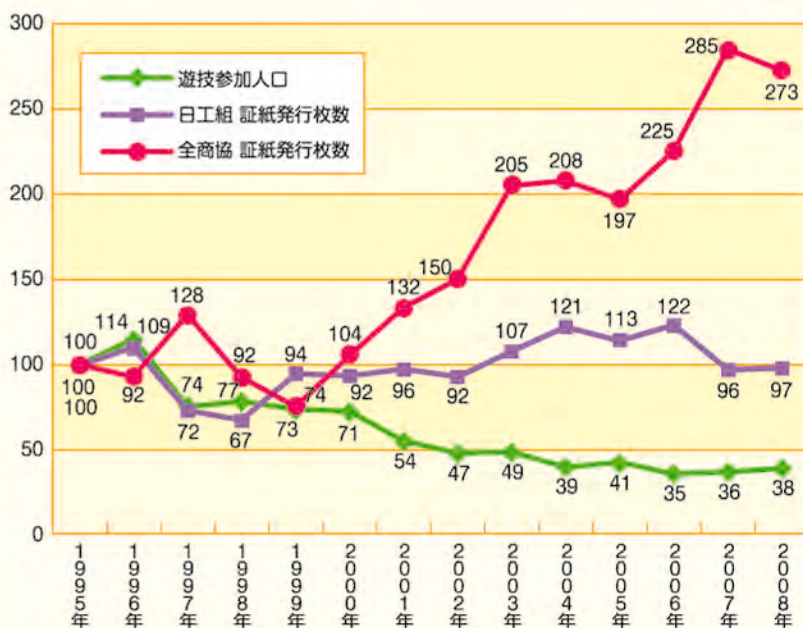
図3 参加人口推移

1996年の4423万人をピーク

● 図3 遊技参加人口推移 ●



● 図4 95年基準変化 ●



ファンにとっての負担は大

さて、ここで全商協の証紙発行枚数と日工組の証紙発行枚数、遊技参加人口の変化について、1995年を100とした指数(図4 95年基準変化)により見てみましょう。

遊技参加人口は2002年に1995年の半数程度になり、この数年は横ばいとなっています。

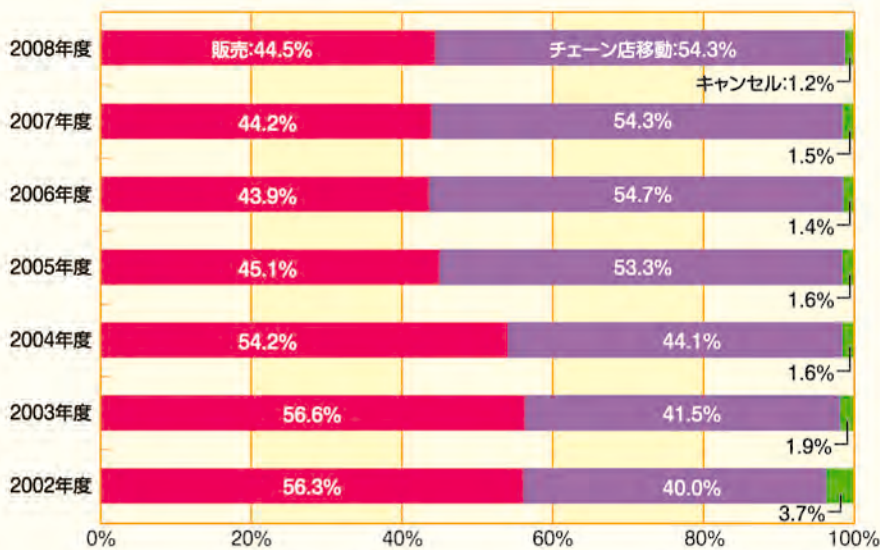
日工組の証紙発行枚数は2006年の433万枚が最高で、2008年には1995年当時とほぼ同じ枚数に落ち着いています。社会的不適合機を撤去した後の2年間、1997年と1998年こそ、1995年の7割程度に落ち込んでいますが、その後は1995年の9割程度に戻っています。

ここから分かることは、パチンコやパチスロを楽しむ人々が減少しているのにも関わらず、パチンコ店における年間の新台の入替台数はそれほど変化しなかったということです。つまり、パチンコファン1人当たりの新台入替台数が増加しているということです。

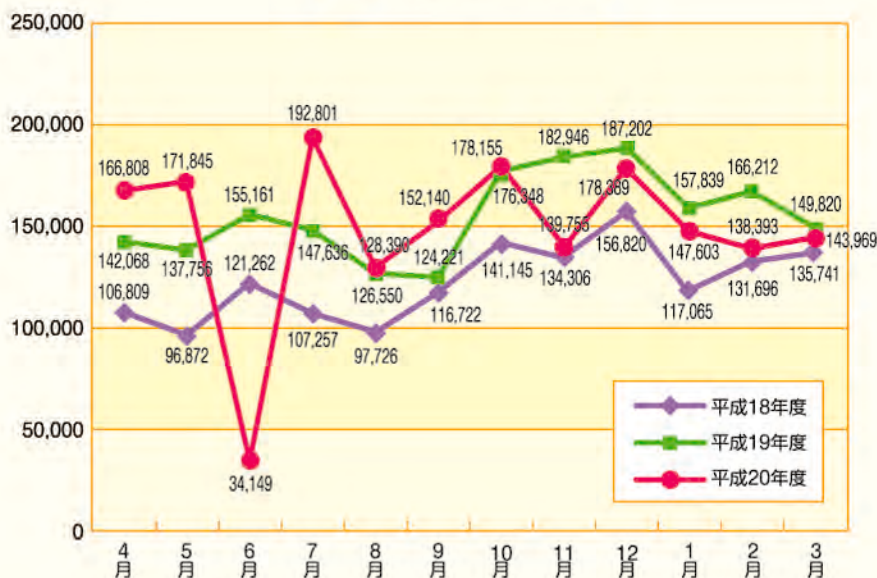
1995年の場合、遊技参加人口は3877万人、日工組の証紙発行枚数は354万枚ですから、遊技参加人口1人当たりの新台負担台数はほぼ0.09台/人相当でした。ところが2008年の1人当たりの新台負担台数では、0.23台/人と3倍近くなっています。新台の導入を決めるのはパチンコ店です。しかし、その台のコストはパチンコファンの利用した貸玉料金で賄われているわけです。パチンコ店にとっては、集客のため

証紙発行枚数で見る中古機流通の役割

● 図5 証紙発行枚数内訳 ●



● 図6 月別確認証紙 ●



チェーン店移動も増え、活用方法も多様に

の新しい入替は欠かせないものですが、その負担が過大になってしまつては、むしろパチンコの魅力を削ぐことになるかもしれません。

一方、全商協の証紙発行枚数は1998年、1999年に落ち込んだ後は2000年に販売会社主

導の「新中古機流通システム」が開始したこともあり、急速に増加を続けます。2005年は人気機種不正対策で中古機流通がしばらく停止していたことにより、前年よりやや枚数を減少させます。しかし、その後も発行枚数を増やし続けます。2008年は6月に洞爺湖サミットへの協力のため入替が行われなかったため、前年に比較して発行枚数は抑えられまし

リユースへの期待も高い

また、証紙発行枚数の内訳(図5 証紙発行枚数内訳)を見てみ

た。それでも、1995年と比較すれば177万枚と大幅に増加しています。最近のパチンコ店が入替コストを削減のために中古機を活用していることがうかがえます。

3R

3R(すりーあー)とは、下記の3つのキーワードの頭文に由来する資源の有効活用に関する言葉。

Reduce リデュース：ごみを減らす
Reuse リユース：再使用
Recycle リサイクル：再資源化

資源活用の優先順位についても

1. リデュース(ごみの発生抑制)
2. リユース(再使用)
3. リサイクル(再資源化)

の順で取り組むべきとされている。

ると、チェーン店移動による利用は2005年度に50%を越え、以降も増加し続けています。このデータから売買だけでなく、自社チェーン内で中古機を有効活用していることが分かります。中古機の活用は、環境配慮のキーワードである3Rのリユース(再利用)にもつながるものです。鳩山首相がニューヨークの国連総会で温室効果ガスを25%削減することを宣言するなど、世の中は省エネ、省資源志向になっています。このような社会の要請にも沿っている中古機流通は今後もその役割は重要になっていくことでしょう。

全商協ホームページ開設のお知らせ

全国遊技機商業協同組合連合会（全商協）では、ホームページを平成21年12月22日に立ち上げました。全商協の組織紹介をはじめ、メインの活動である「中古機の適正流通」、「流通セキュリティの確保」、「廃棄台リサイクル」を分かりやすく説明しています。

また、この全商協の広報誌と連動しています。掲載内容も、順次拡大させていく予定です。よろしくお願ひいたします。アドレスは、
<http://www.zenshokyo.jp/> です。

編集後記

■「これまでどうして広報誌がなかったの？」の疑問に答えるように、井上新会長の一声で“情報発信”にゴーサイン。実は一度、13年前に出したことがあったのですが、途中で息切れして頓挫した経緯があります。「今回は果たして大丈夫なの？」との心配する声も多くありましたので、何としてもそれだけは避けたいと、多くの関係者からご支援とご協力を頂きながらの創刊号への再トライでした。

■「新生・全商協のスタートにふさわしいテーマは、やはり今年平成22年が、中古機流通協議会からの委嘱を受けて、中古遊技機流通等の業務をさせていただいてから、節目の10年目に当たるわけで、“中古遊技機流通の健全・適正な運用維持”を特集した記念創刊号として発刊することでしょう」とベテラン理事からのアドバイスで決まった。

■その記念すべき創刊号の巻頭に、警察庁生活安全局・保安課長、廣田耕一様からご祝辞をいただくことができたのは、極めて意義深いことと重く受け止めなければなりません。特に「中古遊技機流通制度の健全化と厳正な運用には、確実な点検確認の実施が不可欠である」と説かれています。全商協としては、その中核を担う役割を果たすべく、その一助となる指導、教育、啓蒙のための情報発信に、これから努めてまいりたいと思います。（S）

NEWS

遊技機の入替自粛が外される

全日本遊技事業協同組合連合会、日本遊技関連事業協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会、パチンコ・チェンソー協会（PCSA）で構成しますホール5団体小委員会では、所属団体の枠を超えてCO2排出削減に向けた具体的な活動指針を協議。平成21年11月11日開催の小委員会にて「遊技機の入替自粛」が活動方針案から外された。これは、PCSAの臨時社員総会（同年11月20日開催）で明らかにされたもの。

現在、小委員会の活動方針案は「ライトダウンキャンペーンへの参加」「チーム・マイナス6%活動への参加」「屋内設置清涼飲料自販機の営業時間外の消灯」「電力削減ノウハウ集・ポスター作成」の4項目で、最終的に平成22

年1月27日に開催されるパチンコ・パチスロ産業賀詞交換会で発表される見通し。

日電協でもIC封印タグを貼付

日本遊技機工業組合に加盟する全メーカーでは、すでに平成21年4月1日以降に型式試験申請したパチンコ・パチスロ機のすべてにICタグ封印シールの貼付を開始、日本電動式遊技機工業協同組合でも5カ月遅れで、保通協に持ち込むパチスロ機に対してICタグ封印シールの貼付。

このIC封印シールは、専用のICリーダーで情報を読み込むことで、主基板管理番号とID番号をデータ化できるもの。従来は台帳との数字合わせを目視で行っていたホールで、スピーディーな確認作業が可能となった。ただし、日工組は日立製、日電協はNEC製のICリーダー

を採用しているため、ホールは2台のICリーダーを用意する必要がある。

メーカー2社が合同プロジェクト

京楽産業（株）（榎本善紀社長）とサミー（株）（中山圭史社長）は、両社が共有するコンテンツを採用してパチンコ・パチスロを同時リリースする合同プロジェクトの概要を発表。平成21年10月のプレス発表会で明らかにしたもので、すでに両社は合同プロジェクトの継続をプレスリリースにて公表。

第1弾は、テレビアニメの最高視聴率が31・6%を記録し、コミックの累計発行部数が2500万部を誇る「あしたのジョー」。京楽産業・パチンコ、サミーがパチスロを開発、平成21年12月10日には両国技館で合同展示会も開催された。

次号は4月に発行予定です。
「点検確認の解説」を
特集します。



<http://www.zenshokyo.jp/>